

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-298646
 (43)Date of publication of application : 24.10.2000

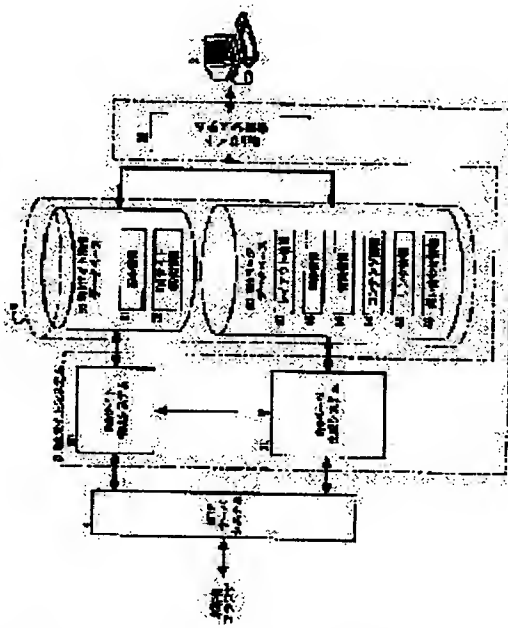
(51)Int.Cl. G06F 15/00
 G06F 13/00
 G06F 17/21

(21)Application number : 11-106691 (71)Applicant : BEST COMMUNICATIONS INC
 (22)Date of filing : 14.04.1999 (72)Inventor : MITSUYASU TOMOHIDE

(54) WWW SERVER SYSTEM**(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily and also quickly construct and operate a home page without needing professional knowledge.

SOLUTION: A client 2 selects the basic configuration of a home page preliminarily set in a Web site configuration database 50 through a browser 6. Here, contents stored in a Web page database 60 are updated, information to be displayed to the public on the home page is prepared or changed and also the association of the contents with the basic configuration is selected. Then, a WWW(World Wide Web) server generates a home page from information stored in these databases when a transmission request of the home page from the Internet or an intranet.



BEST AVAILABLE COPY

LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 15.04.1999
 [Date of sending the examiner's decision of rejection] 25.09.2001
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number]
 [Date of registration]
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2001-19077
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 25.10.2001
 [Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-298646

(P2000-298646A)

(43)公開日 平成12年10月24日 (2000. 10. 24)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 15/00	3 1 0	G 0 6 F 15/00	3 1 0 A 5 B 0 0 9
13/00	3 5 4	13/00	3 5 4 D 5 B 0 8 5
17/21		15/20	5 3 0 K 5 B 0 8 9

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 21 頁)

(21)出願番号 特願平11-106691

(22)出願日 平成11年4月14日 (1999. 4. 14)

(71)出願人 398050331

株式会社ベストコミュニケーションズ

東京都目黒区駒場2丁目1番4号 森下ビル

(72)発明者 光安 智秀

東京都目黒区駒場2-1-4 森下ビル2
F 株式会社ベストコミュニケーションズ
内

(74)代理人 100075513

弁理士 後藤 政喜 (外1名)

Fターム(参考) 5B009 NA03 NA14 NC06

5B085 AC03 BE07 BG07

5B089 GA11 GA21 GB04 HA10 JA23

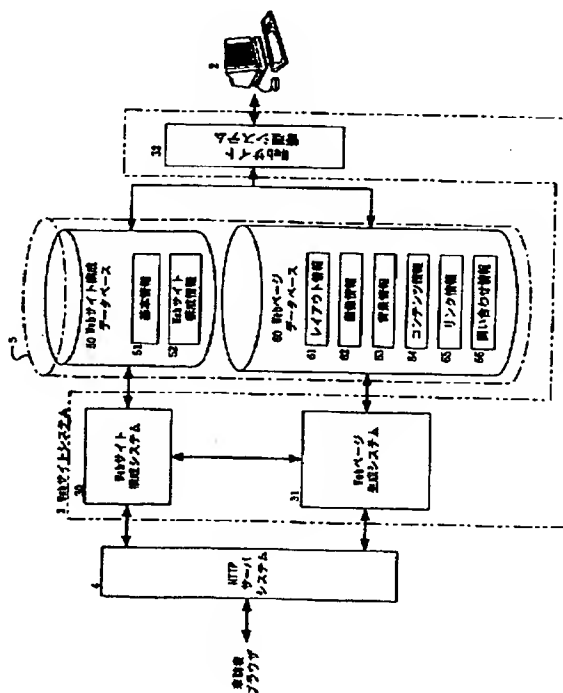
KA01 KA13 KB07 KC21 KC26

(54)【発明の名称】 WWWサーバーシステム

(57)【要約】

【課題】 専門的な知識を要することなく、容易かつ迅速にホームページの構築と運用を行う。

【解決手段】 クライアント2はブラウザ6を介してWebサイト構成データベース50に予め設定されたホームページの基本構成を選択しておき、Webページデータベース60に格納されたコンテンツを更新して、ホームページ上で公開する情報を作成または変更するとともに、このコンテンツと基本構成の関連付けを選択しておく、WWWサーバーは、インターネットまたはイントラネットからホームページの送信要求があったときに、これらのデータベースに格納された情報からホームページを生成する



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネットまたはイントラネットを介してホームページを提供するWWWサーバーと、このWWWサーバーに接続されたクライアントとを備えたWWWサーバーシステムにおいて、

前記WWWサーバーは、

予め設定したホームページの構成に関する情報を格納した第1のデータベースと、

ホームページに掲載されるコンテンツ情報を格納した第2のデータベースと、

前記第1のデータベースに格納された情報を選択してホームページの基本構成を設定する基本構成設定手段と、この基本構成と前記第2のデータベースに格納されたコンテンツとを関連付ける詳細内容設定手段と、

前記インターネットまたはイントラネットからホームページの送信要求があったときに、前記基本構成設定手段と詳細内容設定手段に設定された基本構成及び関連付けに基づいて、前記第1及び第2のデータベースに格納された情報からホームページを生成するホームページ生成手段とを備え、

前記クライアントは、

ブラウザを介して前記基本構成設定手段と詳細内容設定手段の設定を行うとともに、少なくとも前記第2のデータベースを更新するデータベースアクセス手段を備えたことを特徴とするWWWサーバーシステム。

【請求項2】 前記第1のデータベースには、ホームページを構成する複数のレイアウト情報と、各ホームページの関連付けを示すサイト構成情報が、前記構成に関する情報として予め格納され、前記基本構成設定手段は、これら複数のレイアウト情報のうち、ホームページで使用30するレイアウト情報を選択するとともに、サイト構成情報を選択することを特徴とする請求項1に記載のWWWサーバーシステム。

【請求項3】 前記詳細情報設定手段は、第2のデータベースに格納されたコンテンツと前記レイアウト情報との関連付けを作成または変更するコンテンツ情報設定手段を有することを特徴とする請求項2に記載のWWWサーバーシステム。

【請求項4】 前記レイアウト情報は、少なくとも背景情報、画像情報及び配置情報が複数設定されており、前記基本構成設定手段は、これらのレイアウト情報をそれぞれ選択することを特徴とする請求項2に記載のWWWサーバーシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットまたはイントラネットを介して情報を提供するWWWサーバーシステムの改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から、インターネットやイントラネ

ット(TCP/IP技術を用いた企業内ネットワーク)に接続したWWW(World Wide Web)サーバーを介して情報を発信することが行われており、WWWサーバーに開設したホームページを介して、パソコンなどのクライアントでは自由に閲覧することができる。

【0003】特に、企業などにおいては、自社の紹介、自社製品の広告及びサポートに加えて、人材募集等の情報をインターネットから外部へ提供する一方、社内のイントラネットにおいては、データベース等を共有することなどにより、情報伝達の高速化と業務の効率化を図っている。

【0004】しかし、ホームページ(Webページ)を開設、運用する際には、HTML(Hyper Text Markup Language)の言語等を習得する必要があるのに加え、さらに、このHTMLで記述した書類(HTMLファイル)等を、ftp(File Transfer Protocol)クライアントアプリケーション等によってWWWサーバーの所定のディレクトリ(またはフォルダ)へ転送(アップロード)する必要があり、このftpクライアントアプリケーションの操作についても習熟しておく必要がある。

【0005】さらに、開設したホームページを運用する際には、HTMLファイルを更新、追加することで、新たな情報を公開する訳であるが、ホームページを構成するHTMLファイルが複数ある場合、各HTMLファイルのリンク状況を常に把握しておかないと、リンク切れのページが発生して、閲覧者が所望の情報を得られなくなって興味を低下させてしまうなどの問題があるため、ホームページの開設、運用及び保守を行うためには、専門知識に加えて多大な労力を必要としていた。

【0006】そこで、HTML等を習得することなく容易にホームページを作成するものとして、特開平10-283298号公報や特開平10-289206号公報等が知られている。

【0007】前者は、クライアント側で、予め設定された画像データを、パーツとして選択することでホームページ(HTMLファイルの集合体)を作成しておき、WWWサーバー側では、クライアントのIDとホームページの構成を対応づけておき、クライアントがWWWサーバーと接続したとき、WWWサーバーは、クライアントのIDに応じて記憶していたホームページの内容を、クライアントから送信されたホームページの内容に更新するものである。

【0008】また、後者は、クライアントから送られてきたテキストデータを、WWWサーバーがホームページに変換して記憶し、この記憶した情報を提供するものである。

【0009】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来例においては、専門的知識を有しない者であっても、ホームページの作成を容易に行うことができるものの、

予め設定された画像データの選択や、テキストデータを変換してホームページを構成するため、簡易な構成のホームページを作成するのみにとどまり、例えば、インターネットを介して企業が外部へ公開するホームページのように、お知らせ、製品情報、サービス、人材募集、ライブラリなど、多岐にわたるHTMLファイルからホームページ(=Webサイト)を構成し、テキストデータや画像データ等の情報を作成、管理することが難しいという問題があった。

【0010】また、ホームページを構築する場合、ディレクトリ構成(ホームページ全体の構成)を決定して、各ディレクトリへHTMLファイルを配置した後は、日々の情報の更新などによって、各ディレクトリのリンクが切れないように、HTMLファイルのリンク状況をチェックする必要があるが、このような管理作業は、結局前記従来例に示したように、ftpクライアントアプリケーション等によって、各HTMLファイル毎に手作業で行わねばならず、専門的知識の習得と多大な労力を要するという問題が残ってしまう。

【0011】さらに、閲覧者の興味を引きつけるために、ホームページの改修(変更)を行うことも、ホームページの運用に際して重要ではあるが、上記従来例では、背景や挿し絵を統一しながら多数のHTMLファイルを更新することは、結果的に全てのHTMLファイルを書き換える必要があり、多大な労力及び費用を要してしまうという問題があった。

【0012】そこで本発明は、上記問題点を鑑みてなされたもので、専門的な知識を要することなく、容易かつ迅速にホームページの構築と運用を行うことが可能なWWWサーバーシステムを提供することを目的とする。

【0013】

【課題を解決するための手段】第1の発明は、インターネットまたはイントラネットを介してホームページを提供するWWWサーバーと、このWWWサーバーに接続されたクライアントとを備えたWWWサーバーシステムにおいて、前記WWWサーバーは、予め設定したホームページの構成に関する情報を格納した第1のデータベースと、ホームページに掲載されるコンテンツ情報を格納した第2のデータベースと、前記第1のデータベースに格納された情報を選択してホームページの基本構成を設定する基本構成設定手段と、この基本構成と前記第2のデータベースに格納されたコンテンツとを関連付ける詳細内容設定手段と、前記インターネットまたはイントラネットからホームページの送信要求があったときに、前記基本構成設定手段と詳細内容設定手段に設定された基本構成及び関連付けに基づいて、前記第1及び第2のデータベースに格納された情報からホームページを生成するホームページ生成手段とを備え、前記クライアントは、ブラウザを介して前記基本構成設定手段と詳細内容設定手段の設定を行うとともに、少なくとも前記第2のデー

タベースを更新するデータベースアクセス手段を備える。

【0014】また、第2の発明は、前記第1の発明において、前記第1のデータベースには、ホームページを構成する複数のレイアウト情報と、各ホームページの関連付けを示すサイト構成情報が、前記構成に関する情報として予め格納され、前記基本構成設定手段は、これら複数のレイアウト情報のうち、ホームページで使用するレイアウト情報を選択するとともに、サイト構成情報を選択する。

【0015】また、第3の発明は、前記第2の発明において、前記詳細情報設定手段は、第2のデータベースに格納されたコンテンツと前記レイアウト情報との関連付けを作成または変更するコンテンツ情報設定手段を有する。

【0016】また、第4の発明は、前記第2の発明において、前記レイアウト情報は、少なくとも背景情報、画像情報及び配置情報が複数設定されており、前記基本構成設定手段は、これらのレイアウト情報をそれぞれ選択する。

【0017】

【発明の効果】したがって、第1の発明は、クライアントはブラウザを介して第1のデータベースに予め設定されたホームページの構成に関する情報を選択することでホームページの基本構成を決定した後、同じく、第2のデータベースに格納されたコンテンツを更新して、ホームページ上で公開する情報を作成または変更するとともに、このコンテンツと基本構成を関連付けておく。

【0018】WWWサーバーは、インターネットまたはイントラネットからホームページの送信要求があったときに、第1及び第2のデータベースに格納された情報からホームページを生成するようにしたため、ホームページの所有者は、前記従来例のようにHTMLファイルの編集や転送を行う必要がなく、クライアント側のブラウザから、第1のデータベースの設定と、第2のデータベースのコンテンツを更新するだけでよく、専門的な知識を要することなく、容易かつ迅速にホームページの構築と運用を行うことが可能となり、また、ホームページの変更、例えば、レイアウトを変更する場合には、基本構成の選択を変更するだけで良いため、変更に必要な労力及び時間を大幅に短縮することが可能となる。

【0019】また、第2の発明は、クライアント側のブラウザによって、第1のデータベースに予め設定されたレイアウト情報を選択するとともに、各ホームページの関連付けを示すサイト構成情報を選択すると、WWWサーバーは、ホームページの所有者の選択結果に応じてホームページを生成するため、ホームページの構成を変更した場合には、ほぼリアルタイムで来訪者(送信要求)へ情報を提供することができ、ホームページの変更を容易にしながら、変更した結果を迅速に反映することがで

き、また、各ホームページの関連付けは、選択により設定するだけであるため、前記従来例のように、ホームページの運用中の更新などによって、各ページ間の関連付けを喪失することがなくなって、見栄えの良いホームページを維持することができる。

【0020】また、第3の発明は、第2のデータベースに格納されたコンテンツとレイアウト情報との関連付けを、クライアント側のブラウザを介した選択操作によって作成または変更することができるため、例えば、古いコンテンツと新しいコンテンツの置き換えなどを、前記

従来例のように専門的知識を要することなく容易かつ迅速に行うことができる。

【0021】また、第4の発明は、クライアント側のブラウザから、予め設定された複数の背景情報、画像情報及び配置情報をそれぞれ選択して組み合わせることで、多様なホームページを構成でき、また、各ページの構成はレイアウト情報を選択するだけであるため、統一のとれたホームページを容易に構築でき、さらに、ホームページを変更する際には、配置情報、画像情報または配置情報の選択を任意に変更するだけで良いため、前記従来例のようにHTMLファイルの書き換えなどを行う必要がなく、変更に要する時間を大幅に減少させることが可能となる。

【0022】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を添付図面に基いて説明する。

【0023】図1は、WWW(World Wide Web) サーバシステムの概要を示しており、WWWサーバ1(以下、We bサーバ1とする) は、インターネット10を介して外部へ情報を提供する場合の一例を示し、このWe bサーバ1にホームページを開設、運用するクライアント2は、LAN(Local Area Network) 等のネットワーク11を介してWe bサーバ1に接続される。なお、We bサーバ1とクライアント2は、図1の破線で示すように、インターネット10を介して接続することも可能である。

【0024】We bサーバ1のハードウェアとしては、CPU、メモリ、ハードディスク、ディスプレイ及び入力手段(キーボード及びマウスなど) 等に加えて、インターネット10や公衆回線と接続するための通信手段(NIC=Network Interface Card、TA=Terminal Adapterあるいはモデム) 等が配設される。

【0025】同様にクライアント2のハードウェアとしては、CPU、メモリ、ハードディスク、ディスプレイ及び入力手段に加えて、LANまたはインターネット10と接続するための通信手段(NIC、TAまたはモデム) が配設される。

【0026】次に、We bサーバ1のソフトウェアとしては、OS(Operating System) に加えて、ホームページを構成する情報を格納するデータベースサーバシ

ステム5と、このデータベースサーバシステム5の情報に基づいて、予め設定されたホームページをリアルタイムでHTMLファイルとして生成するWe bサイトシステム3と、We bサーバ1に接続した来訪者のブラウザへ上記HTMLファイルを転送するHTTP(Hypertext Transfer Protocol) サーバシステム4が配設され、インターネット10を介して情報を提供するWe bサーバシステムは、We bサイトシステム3を中心に、データベースサーバシステム5とHTTPサーバシステム4より構成される。

【0027】一方、クライアント2のソフトウェアとしては、OSに加えて、We bサーバ1のデータベースサーバシステム5と連動するデータベースクライアントシステム8と、We bサイトシステム3に接続してホームページの構成を設定するためのブラウザ6が配設される。

【0028】ここで、HTMLファイルの集合体であるホームページをWe bサイトとし、ホームページを構成する各HTMLファイルをWe bページとして、We bサーバシステムについて、以下に詳述する。

【0029】まず、図2、図3において、We bサイトシステム3は、We bサイトの基本構成を定義するとともに、この定義に基づいてカバーページやメインメニューを生成するWe bサイト構成システム30と、We bサイト構成システム30で定義されたメインメニューにより、関連付けられた各We bページをリアルタイムで生成するWe bページ生成システム31と、クライアント2のブラウザ6を介して、We bサイトまたはWe bページの構成を設定または変更するWe bサイト管理システム32から構成されている。

【0030】そして、We bサイトシステム3の情報を格納するデータベースサーバシステム5は、We bサイトの基本構成に関する情報であるWe bサイト構成データベース50(第1のデータベース) と、各We bページの情報を格納したWe bページデータベース60(第2のデータベース) に大別される。

【0031】図2、図3に示すように、We bサイト構成データベース50は、URL(Uniform Resource Locator) またはIPアドレス等のWe bサイトの基本的な情報からなる基本情報51と、メニューの構成を定義した情報からなるWe bサイト構成情報52から構成される。

【0032】基本情報51は、We bサイトを構築する際に設定する情報で、URL(またはIPアドレス) やセキュリティ情報、アクセス権等からなり、通常、一旦設定した後は、頻繁に変更することがない。

【0033】基本情報51は、例えば、図5に示すように、組織名、URLまたはIPアドレス、サイト名、サイトの説明等から構成される。

【0034】We bサイト構成情報52は、図7、図

8、図9に示すように、メニュー構成、すなわち、従来のHTMLファイルを用いるWebサイトにおけるディレクトリ構成を示すものである。

【0035】例えば、図8、図9に示すように、カバーページ及びメインメニューの下位には、「お知らせ」、「製品のご紹介」、「商品のご紹介」、「サービスのご紹介」、「実績」……「関連リンク集」、「ご意見・ご要望」等のWebページのカテゴリ-52Aが予め設定されており、Webページの所有者(または管理者。以下オーナーという。)は、これらカテゴリ-52Aの中から、図10に示すように、希望するカテゴリ-を順次選択する。すなわち、ラジオボタン52Bを「使用する」に設定してから、設定ボタン52Cをクリックする。

【0036】そして、各カテゴリ-には、図7に示すように、詳細ページ(コンテンツを含むWebページ)をそれぞれ関連付けることができ、選択した各カテゴリ-サブメニュー1～nに、それぞれ詳細ページ1～nを設定することができる。

【0037】そして、Webサイト構成情報52には、基本情報51ごと(すなわち、URLまたはIPアドレスごと)に選択したカテゴリ-がメニュー構成情報としてそれぞれ格納される。

【0038】この、Webサイト構成情報52は、Webサイトの構成を変更する際に随時書き換えられるものであり、オーナーがカテゴリ-の選択を変更するたびに更新される。

【0039】次に、Webページデータベース60は、各Webページの構成要素を定義するデータの集合体であり、Webページに表示するデータの位置を定義したレイアウト情報61と、Webページに表示する挿し絵などの画像情報を定義する画像情報62と、Webページの背景の色及び模様を定義する背景情報63と、Webページに掲載するコンテンツ、すなわち、テキストデータや画像、音声、動画などを格納したコンテンツ情報64と、他のWebサイトに接続するリンク情報65及び来訪者からのテキストデータ等を蓄積する問い合わせ情報66を主体に構成される。

【0040】これらWebページデータベース60のうち、レイアウト情報61、画像情報62、背景情報63は、予めWebページデータベース60に設定された多数のデータの中から、オーナーが選択するものであり、コンテンツ情報64とリンク情報65は、オーナーが作成するものである。

【0041】もちろん、上記Webサイト構成情報52で、「関連リンク集」、「ご意見・ご要望」が選択されていない場合には、リンク情報65、問い合わせ情報66は使用されない。

【0042】ここで、Webページデータベース60の各要素について、それぞれ説明する。

【0043】<1. レイアウト情報>図11、図12に示すように、レイアウト情報61には、カテゴリ-などに応じて予め多数のレイアウトが設定されており、例えば、図11のレイアウト61A、61Bは、カバーページ用のレイアウトを示す。

【0044】これらレイアウト61A、61Bでは、図中、「組織名」の位置には、図5に示した基本情報51のうち、組織名が反映され、同じく「サイト名」も基本情報51のサイト名が反映される。また、図中、「画像」の位置には、画像情報62で選択した画像情報、例えば、後述するような挿し絵が表示される。

【0045】これらレイアウト情報には、表示する情報がデータベースサーバーシステム5のうち、どの情報と関連付けるか、表示する大きさ、位置及びテキストデータであれば書体が予め設定されている。

【0046】これら、多数のレイアウトの選択は、図11のスクロールバーを操作して、所望のレイアウトを探した後、例えば、図11のレイアウト61Aを選択する場合には、図中名前の欄の「Cover 01」をクリックすればよく、このレイアウト61Aは、カバーページで使用するレイアウトを選択したことになる。なお、メインメニューや各Webページで使用するレイアウトには、例えば、「Type XX」という名称が付される。

【0047】すなわち、図11のような選択メニューで、各Webページで使用するレイアウトのうち、名前が「Type 01」というレイアウトを選択すると、図12のように、メインメニューや各Webページで使用するレイアウト61C(Type 01)が表示される。

【0048】このレイアウト61Cは、図7～図9で選択した各カテゴリ-またはメインメニューで使用するレイアウトの一例を示し、組織名、サイト名及び画像は上記と同様であり、「コンテンツ」の位置には、コンテンツ情報64に格納したテキストデータや画像などの情報が掲載され、ページタイトルには、コンテンツ情報64に設定された題名が関連付けられる。

【0049】さらに、図中、「リンクボタン」には、図7に示したように、各カテゴリ-のサブメニューから詳細ページなどへの関連付けが設定され、Webページに表示されたときには、ディスプレイの画面上で、この「リンクボタン」をカーソルでクリック(選択指令)することにより予め設定されたWebページへ移動することができる。

【0050】そして、該当するレイアウト61CをWebサイトで使用する場合には、図12に示したラジオボタン61D、61Eより、使用「する」、「しない」のいずれか一方を選択した後に、設定ボタン61Fをクリックすることで、表示されたレイアウト情報をどのページで使用するかを設定することができ、この場合、ラジオボタン61Dの使用「する」をチェックすることによ

10

20

30

40

50

り、メインメニューは選択した図示のレイアウト 6 1 により構成されることになり、また、ラジオボタン 6 1 E の使用「する」をチェックすることにより、各 Web ページが選択した図示のレイアウト 6 1 C に統一されることになる。

【0051】なお、上記設定操作は、クライアント 2 で起動したブラウザ 6 によって行われ、後述するように、Web サイトシステム 3 の Web サイト管理システム 3 2 を介して、データベースサーバシステム 5 のレイアウト情報 6 1 に設定内容が格納される。

【0052】したがって、Web サイトのレイアウトは、カバーページを「Cover XX」という名前のレイアウトの中から選択し、メインメニューまたは各 Web ページのレイアウトは、「Type XX」という名前のレイアウトの中から設定すれば、後述するように、リアルタイムで Web サイトのレイアウトを変更することができ、HTML や ftp の知識を必要とすることなく、簡易かつ迅速に全ページのレイアウトを設定、変更し、かつ、各 Web ページは、ひとつのレイアウトに統一されて、来訪者にとって、見やすい Web サイトを容易に構成することができる。

【0053】<2. 画像情報>図 1 3 に示すように、カバーページ、メインメニュー及び各 Web ページに表示される挿し絵などの画像情報 6 2 は、予め多数の挿し絵が設定されており、例えば、図 1 3 のように、画像情報 6 2 の選択画面では、挿し絵 6 2 A、6 2 B、6 2 C が表示され、各挿し絵の使用状況が、図中、「カバーページでの使用」、「MAIN MENUでの使用」及び「各ページでの使用」が○、×によって表示される。なお、「×」は非使用を、「○」は使用中を意味する。

【0054】これら挿し絵は、上記レイアウト情報 6 1 に設定されたレイアウトのうち、図 1 1、図 1 2 に示したように、「画像」の位置に、各レイアウト毎に予め設定された大きさで表示されるものである。

【0055】これら、多数の挿し絵の選択は、図 1 3 のスクロールバーを操作して、所望の挿し絵を探した後、例えば、図 1 3 の挿し絵 6 2 A を選択する場合には、図中名前の欄の「動物-鳥(大1)」をクリックすればよい。

【0056】図 1 4 は、上記図 1 3 の選択メニューから、「地球」という名前の挿し絵 6 2 D を選択した場合を示し、挿し絵 6 2 D のイメージとファイル名などが表示される他、選択した挿し絵 6 2 D を Web サイトのどのページに使用するかを選択するラジオボタン 6 2 E、6 2 F、6 2 G より、使用「する」、「しない」のいずれか一方を選択した後に、設定ボタン 6 2 H をクリックすることで、表示された挿し絵 6 2 D を使用するページを選択するだけで設定できる。

【0057】この場合、ラジオボタン 6 2 E の使用「する」をチェックすることにより、カバーページに選択し

た挿し絵 6 2 D が表示され、同じくラジオボタン 6 2 F の使用「する」をチェックすることにより、メインメニューに選択した挿し絵 6 2 D が表示され、さらに、ラジオボタン 6 2 G の使用「する」をチェックすることにより、各 Web ページの画像情報に表示される挿し絵は、選択した 6 2 D に統一されることになる。

【0058】なお、上記設定操作は、クライアント 2 で起動したブラウザ 6 によって行われ、後述するように、Web サイトシステム 3 の Web サイト管理システム 3 2 を介して、データベースサーバシステム 5 の画像情報 6 2 に設定内容が格納される。

【0059】したがって、Web サイトの各ページに表示される挿し絵などの画像情報 6 2 は、図 1 3、図 1 4 の選択メニューより設定すれば、後述するように、リアルタイムで Web サイトに表示される挿し絵などの画像情報 6 2 を設定、変更することができ、HTML や ftp の知識を必要とすることなく、簡易かつ迅速に全ページのレイアウトを設定、変更でき、かつ、各 Web ページは、ひとつのレイアウトに統一されて、来訪者にとって、見やすい Web サイトを容易に構成することができる。

【0060】<3. 背景情報>Web サイトの各ページには、通常、背景が設定されており、背景情報 6 3 は、図 1 5 に示す背景の選択メニューは、カバーページ、メインメニュー及び各 Web ページで表示される背景を、予め設定された多数の背景から選択するものである。

【0061】これら予め設定された背景は、図 1 5 の「名前」に示すように、色または模様で表示され、各背景の使用状況が、図中、「カバーページでの使用」、「MAIN MENUでの使用」及び「各ページでの使用」が○、×によって表示される。なお、「×」は非使用を、「○」は使用中を意味する。

【0062】これら背景は、上記レイアウト情報 6 1 に設定されたレイアウトのうち、図 1 1、図 1 2 に示したように、各レイアウトの背面に表示されるものである。

【0063】これら、多数の背景の選択は、図 1 5 のスクロールバーを操作して、所望の挿し絵を探した後、例えば、図 1 5 の「煉瓦(オレンジ)&白」という名前の背景 6 3 A を選択する場合には、図中名前の欄をクリックすればよい。

【0064】図 1 6 は、上記図 1 5 の選択メニューから、「煉瓦(オレンジ)&白」という名前の背景 6 3 A を選択した場合を示し、背景 6 3 A のイメージとファイル名などが表示される他、選択した背景 6 3 A を Web サイトのどのページに使用するかを選択するラジオボタン 6 3 B、6 3 C、6 3 D より、使用「する」、「しない」のいずれか一方を選択した後に、設定ボタン 6 3 E をクリックすることで、表示された背景 6 3 A を、どのページで使用するかを設定することができる。

【0065】この場合、ラジオボタン 6 3 B の使用「す

る」をチェックすることにより、カバーページの背景として背景6 3 Aが表示され、同じくラジオボタン6 3 Cの使用「する」をチェックすることにより、メインメニューに選択した背景6 3 Aが表示され、さらに、ラジオボタン6 3 Dの使用「する」をチェックすることにより、各We b ページの背景が選択した背景6 3 Aに統一される。

【0066】なお、上記設定操作は、クライアント2で起動したブラウザ6 によって行われ、後述するように、We b サイトシステム3のWe b サイト管理システム3 2を介して、データベースサーバーシステム5の背景情報6 3に設定内容が格納される。

【0067】したがって、We b サイトの各ページに表示される背景情報6 3は、図15、図16の選択メニューからマウスなどで設定するだけであり、後述するように、リアルタイムでWe b サイトに表示される背景情報6 3を設定、変更することができ、HTMLやftpの知識を必要とすることなく、簡易かつ迅速に全ページの背景を設定、変更でき、かつ、各We b ページは、ひとつの背景に統一されて、来訪者にとって、見やすいWe b サイトを容易に構成することができる。

【0068】<4. コンテンツ情報>各We b ページには、オーナーが作成したテキストデータや画像、音声、動画等からなるコンテンツ情報6 4が、図11、図12に示したレイアウト情報6 1の「コンテンツ」の位置に配置されて、具体的な情報の提供、公開が行われる。

【0069】このコンテンツ情報6 4の設定または変更は、図1に示したように、クライアント2のブラウザ6から行う場合と、クライアント2のデータベースクライアントシステム8から行う場合の2通りあり、以下それぞれについて説明する。

【0070】<4. 1 ブラウザからのコンテンツ管理>クライアント2のブラウザ6からコンテンツ情報6 4を管理する場合は、図1～図3に示したWe b サイトシステム3のWe b サイト管理システム3 2を介して、データベースサーバーシステム5へコンテンツ情報6 4を登録または変更する。

【0071】クライアント2のブラウザ6を起動して、図17に示すコンテンツ管理画面が表示されると、上記図7～図10に示したように、We b サイト構成情報5 2で設定されたWe b ページのカテゴリが表示される。

【0072】図17の例では、We b サイト構成情報5 2に、「FAQ」、「お知らせ」、「メンバー紹介」、「製品・サービス」及び「組織紹介」を選択している場合を示す。

【0073】コンテンツ情報6 4を作成あるいは変更したいWe b ページのカテゴリを、図17の表示画面からマウスのクリック操作により選択すると、図18に示すように、選択したWe b ページの種類6 4 A、題名6

4 B、テキスト情報6 4 C、ラジオボタン6 4 D、ファイル添付情報6 4 E、設定ボタン6 4 Fが表示される。

【0074】クライアント2のブラウザ6から、題名6 4 B、テキスト情報6 4 Cを作成または貼り付け、あるいは変更した後、ラジオボタン6 4 Dを選択して、We b ページへ掲載するか否かを選択する。

【0075】そして、設定ボタン6 4 Fをクリックすることにより、図18に示した、題名6 4 B及びテキスト情報6 4 Cは、予め設定されたWe b ページ種類6 4 A（カテゴリ）に関連付けられてWe b ページデータベース6 0に格納される。

【0076】また、画像情報などのコンテンツ情報6 4をテキスト情報6 4 Cに関連付けて掲載する際には、図18に示した、ファイル添付情報6 4 Eに、任意のフォルダ名及びファイル名を挿入すればよい。

【0077】したがって、コンテンツ情報6 4の新規作成、変更及び掲載の可否を、ブラウザ6から容易に設定でき、また、ラジオボタンを操作することにより迅速に設定内容を反映させることができ、上記と同様に、特別な知識を必要とすることなく、簡易かつ迅速にコンテンツの作成、変更を行うことが可能となり、また、各コンテンツ情報6 4は、必ずWe b ページに関連付けられているため、前記従来例で述べたように、リンク切れなどを起こすのを防いで、We b サイトの管理に要する労力を大幅に低減することが可能となる。

【0078】<4. 2 データベースクライアントシステムからのコンテンツ管理>クライアント2のデータベースクライアントシステム8によってコンテンツ情報6 4を管理する場合には、図1～図3に示したように、データベースクライアントシステム8から直接データベースサーバーシステム5のWe b ページデータベース6 0にコンテンツ情報6 4を登録または更新する。

【0079】クライアント2のデータベースクライアントシステム8を起動して、図19に示すコンテンツ管理画面が表示されると、上記図7～図10に示したように、We b サイト構成情報5 2で設定されたWe b ページのカテゴリが表示される。

【0080】図19の例では、We b サイト構成情報5 2に、「FAQ」、「お知らせ」、「メンバー紹介」、「製品・サービス」及び「組織紹介」を選択している場合を示す。

【0081】コンテンツ情報6 4を作成あるいは変更したいWe b ページのカテゴリを、図19の表示画面からマウスのクリック操作により選択すると、図20に示すように、選択したWe b ページの種類6 4 A'、題名6 4 B'、コンテンツ6 4 G、ラジオボタン6 4 D'、保存ボタン6 4 Hが表示される。

【0082】なお、図20は、データベースサーバーシステム5を構成するWe b ページデータベース6 0の内容を示しており、この例では、新規にコンテンツ情報6

13

4 を登録する場合の表示画面を示す。

【0083】クライアント2のデータベースクライアントシステム8から、プルダウンメニューで構成されたWebページの種類64A'を選択し、さらに、題名64B'へテキストを入力するとともに、コンテンツ64Gに画像、グラフィックス、音声データ、動画データ等を貼り付ける。なお、この貼り付けは、クライアント2で作成した任意のファイルをコピー&ペーストなどによって行えばよく、もちろん、テキストデータや、ワードプロセッサや表計算などのアプリケーションで作成した書類を貼り付けることができる。

【0084】そして、ラジオボタン64D'を選択して、Webページへ掲載するか否かを選択した後、保存ボタン64Hをクリックすることにより、コンテンツ情報64はWebページデータベース60に登録される。

【0085】こうして、Webページデータベース60に登録された時点から、作成または変更したコンテンツは、後述するように、リアルタイムでWebサイトに掲載される。

【0086】したがって、テキストデータや画像等の任意のコンテンツ情報64を作成、変更し、さらに掲載の可否の設定を、データベースクライアントシステム8から容易に行うことができ、前記従来例のような、ftpアプリケーションなどの特別な知識を必要とすることなく、簡易かつ迅速にコンテンツの作成、変更を行うことが可能となる。

【0087】また、各コンテンツ情報64は、必ずWebページに関連付けられているため、前記従来例で述べたように、リンク切れなどを起こすのを防いで、Webサイトの管理に要する労力を大幅に低減することが可能となる。

【0088】なお、Webページデータベース60に格納される、リンク情報65及び問い合わせ情報66は、基本的にテキストデータであるため、上記コンテンツ情報64と同様にして、作成、変更及び形成の可否を設定すればよい。

【0089】以上のような情報からデータベースサーバシステム5には、Webサイト構成データベース50とWebページデータベース60がHTMLファイルを用いることなく構築され、Webサイトシステム3は、図1～図3に示すように、これらWebサイト構成データベース50とWebページデータベース60の情報を管理するWebサイト管理システム32と、Webサイト構成データベース50に基づいてカバーページ及びメインメニューをリアルタイムで生成するWebサイト構成システム30と、Webページデータベース60に基づいて、各Webページをリアルタイムで生成するWebページ生成システム31の3つのシステムを主体に構成される。

【0090】まず、Webサイト管理システム32につ

14

いて、図4のフローチャートを参照しながら以下に詳述する。なお、図4は、新規にWebサイトを構築する場合のフローチャートである。

【0091】まず、クライアント2は、図1～図3に示したように、ブラウザ6を起動させてWebサーバ1に接続した後、図5に示したサイト管理メニュー50Mを開く(ステップS1)。

【0092】そして、図5において、サイト管理メニュー50Mのうち、基本情報の設定メニュー51Mを選択して、図示のような、組織名、URLまたはIPアドレス、Webサイトの名前等の基本情報51を入力して、Webサイト構成データベース50に登録する(ステップS2)。

【0093】次に、図9に示すように、サイト管理メニュー50Mのうち、カテゴリーの設定メニュー52Mを選択して、図8のように、カバーページ及びメインメニューの下位に、予め設定されたカテゴリー52Aの中から、希望するカテゴリーを選択する(ステップS3)。

【0094】この選択は、図9、図10に示すカテゴリー一選択メニューから、ラジオボタン52B(図10参照)を選択することで行われ、図6のフローチャートに示すように、Webサイト構成データベース50のWebサイト構成情報52を読み込む(ステップS20)。

【0095】そして、各カテゴリー毎に、ラジオボタン52Bの「使用する」、「使用しない」の情報に基づいてフラグのON、OFFを判定する(ステップS21)。なお、ラジオボタン52Bが「使用する」の場合にフラグがONとなる一方、「使用しない」場合にはOFFとなる。

【0096】そして、フラグがONであれば、選択したカテゴリーをWebサイト構成情報52に設定する。

【0097】この図6の処理を繰り返すことにより、上記図7に示したように、各カテゴリーサブメニュー1～nに、それぞれ詳細ページ1～nが設定される。

【0098】上記ステップS2、S3でWebサイトの基本構成を決定すると、上記<1. レイアウト情報>で述べたように、カバーページ、メインメニュー及び各Webページのレイアウト情報61の設定を行う(ステップS4)。

【0099】さらに、ステップS5では、上記<2. 画像情報>で述べたように、各ページの挿し絵を選択し、またステップS6では、上記<3. 背景情報>で述べたように、各ページの背景を選択する。

【0100】そして、ステップS7では、オーナーが作成したコンテンツ情報64を、上記<4. コンテンツ情報>で述べたように、選択したカテゴリー毎に設定し、Webページデータベース60に登録する。なお、コンテンツ情報64の登録は、上記<4. 2>に示したように、データベースクライアントシステム8によって行っても良い。

【0101】さらに、上記ステップS3で、図8、図9に示した「関連リンク集」(リンク情報65)または「ご意見・ご要望」(問い合わせ情報66)を選択した場合には、コンテンツ情報64と同様にして、リンク情報65の作成ならびに問い合わせ情報66の準備を行う。

【0102】上記ステップS1～S9により、ブラウザ6またはデータベースクライアントシステム8によって、Webサイトの構築が完了する。なお、請求項との関連は、上記ステップS1～S6が基本構成設定手段に相当し、ステップS7～S9が詳細内容設定手段に相当する。

【0103】すなわち、Webサイトのオーナーは、前記従来例のようなHTMLやftpアプリケーションに関する知識を要することなく、容易かつ迅速にWebサイトを構成することができるのである。

【0104】さらに、構築したWebサイトの各Webページは、図12、図14、図16に示したように、統一されたレイアウト、挿し絵及び背景を用いるため、オーナーがページ構成の統一に腐心することがなくなつて、従来例に比して、Webサイトの構築に要する時間を大幅に短縮することが可能となる。

【0105】また、Webサイトの構成の変更(カテゴリの変更など)や、コンテンツの変更も上記ステップS1～S9のうち、必要なものについて実行すればよく、前記従来例のように、HTMLファイルの編集やftpアプリケーションに転送などの複雑かつ専門的な知識を要する作業が不要になり、ブラウザ6によって迅速かつ容易にWebサイトの運用管理を行うことが可能となつて、Webサイトの運営にかかる労力または費用を大幅に低減することができるのである。

【0106】例えば、背景を変更するには、上記ラジオボタン63B～63Dのうち、必要なものについて「使用する」設定にするだけでよく、この後、設定ボタン63Eをクリックした時点から、Webサイトの背景が変更され、オーナーの設定をリアルタイムで反映することが可能となるのである。なお、いままで使用していた背景は、自動的に「使用しない」設定に変更される。

【0107】次に、上記Webサイト管理システム32で構築されたWebサイトに、来訪者のアクセスがあると、図1～図3に示した、Webサイト構成システム30とWebページ生成システム31によって、データベースサーバーシステム5に格納された情報に基づいて、カバーページ、メインメニュー及び各Webページが一時的に生成される。

【0108】これら各ページの生成は、Webサイト構成情報52、レイアウト情報61及びコンテンツ情報64等の予め設定されたデータを、HTMLファイルに合成して、HTTPサーバーシステム4が来訪者のブラウザへ送信するものである。

【0109】図21のフローチャートにおいて、まず、ステップS30でURLまたはIPアドレスを読み込むと、ステップS31では、Webサイト構成データベース50の基本情報51を読み込んで、該当するURLのWebサイト構成情報52とレイアウト情報61、画像情報62及び背景情報63に基づいてカバーページを生成する。

【0110】次に、ステップS32では、上記図6のステップS21で設定されたフラグに基づいて、メインメニューを生成する。

【0111】すなわち、図22のフローチャートに示すように、ステップS40で、予め設定されたWebサイト構成情報52のカテゴリを読み込んでから、ステップS41で、上記ステップS21で設定されたフラグより、該当するWebサイトで使用するカテゴリを判定する。

【0112】そして、フラグがONとなっているカテゴリのみを、ステップS42でHTMLファイルとして生成する。

【0113】上記ステップS40～S42を、読み込んだ各カテゴリについてそれぞれ実行することにより、Webサイトのオーナーが上記図4のフローチャートで設定した内容に基づいて、図23に示すように、レイアウト61C(図12参照)、挿し絵62D(図14参照)、背景63A(図16参照)、コンテンツの題名64B、会社名(組織名)、サイトの説明及びサイト名(図5参照)、カテゴリ52A(図8、図9参照)がHTMLファイルとして一時的に生成され、HTTPを介して来訪者のブラウザへ送信され、来訪者側のディスプレイには図23に示すようなメインメニューが表示される。なお、カバーページからメインメニューへの移動は、来訪者側がカバーページに設けたリンクボタン(図示せず)を選択することにより実行される。

【0114】ここで、Webサイト構成情報52のカテゴリの設定が、例えば、図22に示すように、カテゴリ1～3のうち、カテゴリ1がON、カテゴリ2がOFF、カテゴリ3がONの場合には、図23に示すように、カテゴリ1、3が表示され、このカテゴリ1、3に対応するコンテンツ1、3のコンテンツ題名64Bがサブメニューとして表示される。

【0115】次に、図21のステップS32では、Webページデータベース60に設定されているコンテンツ情報64、リンク情報65及び問い合わせ情報66と上記レイアウト情報61等から各Webページを生成する。

【0116】各Webページの生成は、図24のフローチャートに示すように、ステップS50で、コンテンツ情報64からテキスト情報64C(図18参照)やコンテンツ64Gを読み込んでから、各コンテンツ情報64の掲載、非掲載を示すラジオボタン64D、64D'の

(図18、図20 参照) のON、OFF (掲載する、しない) の情報をフラグとし、ステップS51では、該当するWe b サイトで使用するコンテンツ情報64 (またはリンク情報65、問い合わせ情報66) を、フラグの状態に応じて判定する。

【0117】そして、フラグがONとなっているコンテンツ情報64のみを、ステップS52でHTMLファイルとして生成する。

【0118】上記ステップS50～S52を、読み込んだ各コンテンツ情報64についてそれぞれ実行することにより、We b サイトのオーナーが上記図4のフローチャートで設定した内容に基づいて、図25に示すように、レイアウト61C (図12参照)、挿し絵62D (図14参照)、背景63A (図16参照)、コンテンツ64Gまたはテキスト情報64C、会社名 (組織名)、カテゴリ52A (図8、図9参照) からなるメニューがHTMLファイルとして一時的に生成されるとともに、HTTPサーバーシステム4を介して来訪者のブラウザへ送信され、来訪者側のディスプレイには図25に示すようなWe b ページが表示される。

【0119】このように、We b サイトシステム3のWe b サイト構成システム30及びWe b ページ生成システム31は、来訪者の要求に応じて、データベースサーバーシステム5に設定されたWe b サイト構成データベース50とWe b ページデータベース60より、HTMLファイルを一時的に生成し、情報を提供するもので、一時的に生成される各HTMLファイルは、We b サーバー1の記憶装置である、メモリないしハードディスク上に格納され、来訪者のアクセスが終了してから所定時間経過した後に消去されるものである。

【0120】したがって、We b サイトのオーナーがHTMLファイルを編集し、f t pアプリケーションによってWe b サーバーへ転送する作業が不要となって、We b サイトの構成を予め設定された要素から選択し、コンテンツ情報64、リンク情報65及び問い合わせ情報66のみをWe b サーバー1のデータベースサーバーシステム5に登録するだけでよく、この選択、登録及び変更などの作業はブラウザ6を介して、We b サイト管理システム32を操作すればよい。前記従来例のように専門的な知識を要することなく、容易にWe b サイトの構築及び運用を行うことが可能となり、We b サイトの運営にかかる労力または費用を大幅に低減することができるのである。

【0121】そして、We b サイトの構成やレイアウトの設定は、予め設定された多数のデータを任意に組み合わせることができるため、前記従来例に比して、多岐にわたるWe b ページを多様なデザインで構成することが可能となる。

【0122】さらに、We b サイトの構成やコンテンツの変更も、ブラウザ6を介してWe b サイト管理システ

ム32を操作するだけでよく、かつ、変更した内容はリアルタイムで来訪者に反映されるため、前記従来例のように、HTMLファイルの編集、f t pアプリケーションによる転送作業などに比して、変更に要する時間を大幅に短縮でき、新しい情報を迅速に来訪者へ提供することが可能となるのである。

【0123】なお、上記実施形態において、クライアント2にデータベースクライアントシステム8を適用した例を示したが、クライアント2には少なくともブラウザ6があればよく、上記したようにブラウザ6を介してWe b サイト管理システム32からデータベースサーバーシステム5の設定、変更を行っても良い。

【0124】また、上記実施形態では、We b ページデータベース60のうち、レイアウト情報61、画像情報62、背景情報63は、予めWe b ページデータベース60に設定された多数のデータの中から、オーナーが選択するものとしたが、ブラウザ6やデータベースクライアントシステム8等からオーナーが作成したレイアウト情報61、画像情報62または背景情報63を登録、使用するようにしてもよい。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態を示すクライアントサーバーシステムの概略構成図。

【図2】同じくWe b サーバーシステムの構成を示す概念図。

【図3】同じくWe b サーバーシステムの詳細概念図。

【図4】We b サイト管理システムの一例を示すフローチャート。

【図5】基本情報設定メニューを表示した画面の一例を示す。

【図6】We b サイトのカテゴリ構成を示すフローチャート。

【図7】メインメニューからWe b ページまでの階層構造を示す概念図。

【図8】カテゴリの一例を示し、階層構造を示す概念図。

【図9】カテゴリ選択メニューを表示した画面の一例を示す。

【図10】カテゴリ選択メニューの設定画面の一例を示す。

【図11】レイアウト選択メニューを表示した画面の一例を示す。

【図12】レイアウト選択メニューの設定画面の一例を示す。

【図13】画像情報選択メニューを表示した画面の一例を示す。

【図14】画像情報選択メニューの設定画面の一例を示す。

【図15】背景情報選択メニューを表示した画面の一例を示す。

【図16】背景情報選択メニューの設定画面の一例を示す。

【図17】ブラウザによるコンテンツ管理メニューを表示した画面の一例を示す。

【図18】ブラウザによるコンテンツ管理の設定画面の一例を示す。

【図19】データベースによるコンテンツ管理メニューを表示した画面の一例を示す。

【図20】データベースによるコンテンツ管理の設定画面の一例を示す。

【図21】Webサイト構成システム及びWebページ生成システムの一例を示すフローチャート。

【図22】メインメニュー生成の一例を示すフローチャート。

【図23】生成したメインメニューの一例を示す画面。

【図24】Webページ生成の一例を示すフローチャート。

【図25】生成したWebページの一例を示す画面。

【符号の説明】

1 Webサーバー

2 クライアント

3 Webサイトシステム

4 HTTPサーバーシステム

5 データベースサーバーシステム

6 ブラウザ

8 データベースクライアントシステム

10 インターネット

11 ネットワーク

30 Webサイト構成システム

31 Webページ生成システム

10 32 Webサイト管理システム

50 Webサイト構成データベース

51 基本情報

52 Webサイト構成情報

60 Webページデータベース

61 レイアウト情報

62 画像情報

63 背景情報

64 コンテンツ情報

65 リンク情報

20 66 問い合わせ情報

【図1】

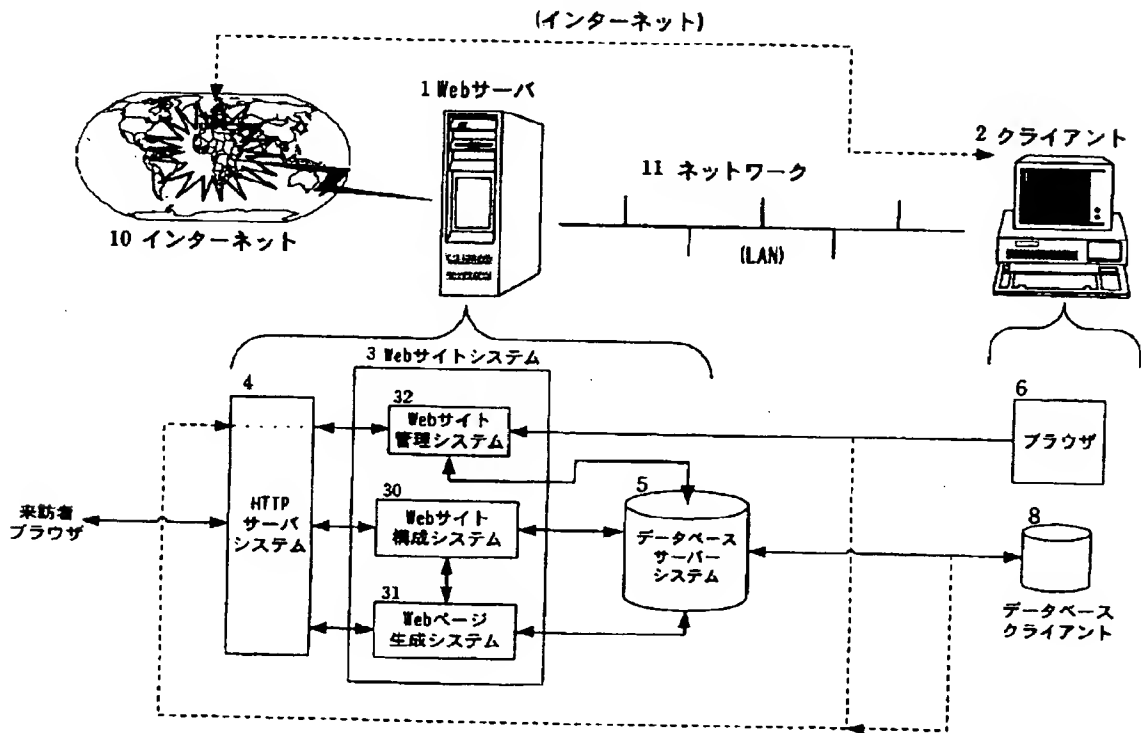


Figure 1 is a block diagram of a Web site system. The diagram illustrates the components and their interactions:

- 2**: User (represented by a computer icon).
- 32**: Web site management system.
- 3**: Web site system, which includes:
 - 30**: Web site construction system.
 - 31**: Web page generation system.
- 4**: HTTP server system.
- 50**: Web site construction database, containing:
 - 51**: Basic information.
 - 52**: Web site construction information.
- 60**: Web page database, containing:
 - 61**: Layout information.
 - 62**: Image information.
 - 63**: Background information.
 - 64**: Content information.
 - 65**: Link information.
 - 66**: Contact information.

The diagram shows the following connections:

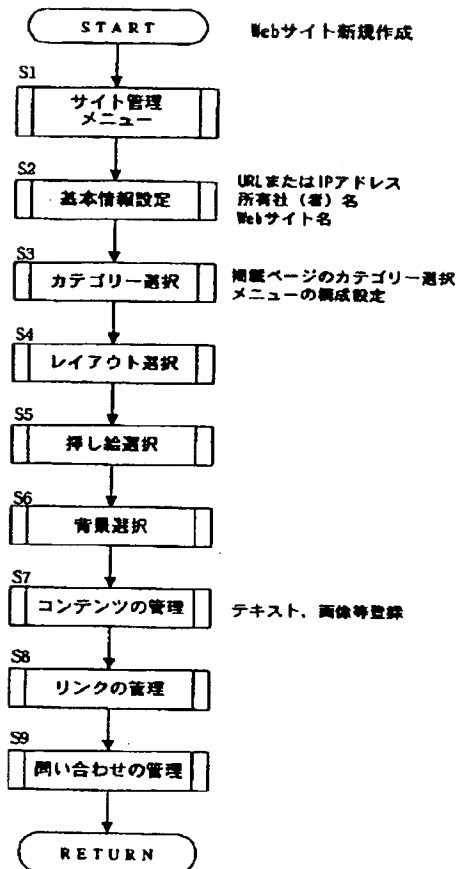
- The user (**2**) is connected to the Web site management system (**32**).
- The Web site management system (**32**) is connected to the Web site construction system (**30**) and the Web page generation system (**31**).
- The Web site construction system (**30**) is connected to the Web site construction database (**50**) and the Web page generation system (**31**).
- The Web page generation system (**31**) is connected to the Web page database (**60**).
- The HTTP server system (**4**) is connected to the Web site construction system (**30**) and the Web page generation system (**31**).

Figure 1 is a block diagram illustrating the overall system architecture. The system is divided into four main functional blocks, each with its own internal processes and data storage, and is connected to an HTTP Server System and an HTTP User System.

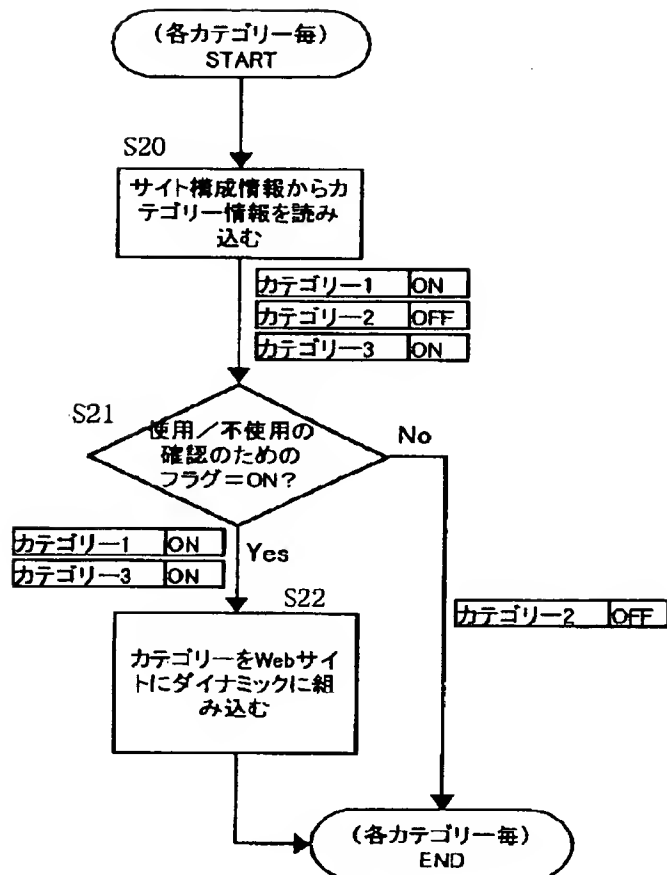
- 30 Web Site Creation System:**
 - Webサイトの定義 (Website Definition)
 - Webサイトの構成 (Website Structure)
 - メインメニューの生成 (Main Menu Generation)
 - Webページのデザイン生成 (Web Page Design Generation)
- 31 Web Page Generation System:**
 - Webページのデザイン生成 (Web Page Design Generation)
 - カテゴリ等のメニューページの生成 (Category Menu Page Generation)
 - コンテンツ等の詳細ページの生成 (Detailed Content Page Generation)
 - 関連リンク集ページの生成 (Related Link Collection Page Generation)
 - 問合せ受付ページの生成 (Inquiry Reception Page Generation)
- 50 Web Site Database:**
 - 基本情報 (Basic Information)
 - サイト構成情報 (Site Structure Information)
 - レイアウト情報 (Layout Information)
 - 画像情報 (Image Information)
 - 背景情報 (Background Information)
 - コンテンツ情報 (Content Information)
 - 関連リンク情報 (Related Link Information)
 - 問合せ情報 (Inquiry Information)
- 32 Web Site Management System:**
 - 基本情報の設定 (Basic Information Setting)
 - カテゴリの選択 (Category Selection)
 - レイアウトの選択 (Layout Selection)
 - 挿し絵の選択 (Thumbnail Selection)
 - 背景の選択 (Background Selection)
 - コンテンツの管理 (Content Management)
 - 関連リンク集の管理 (Related Link Collection Management)
 - 問合せの管理 (Inquiry Management)

The diagram shows the flow of data and control between these components, with arrows indicating the direction of information exchange. The HTTP Server System and HTTP User System are shown as external entities interacting with the internal systems.

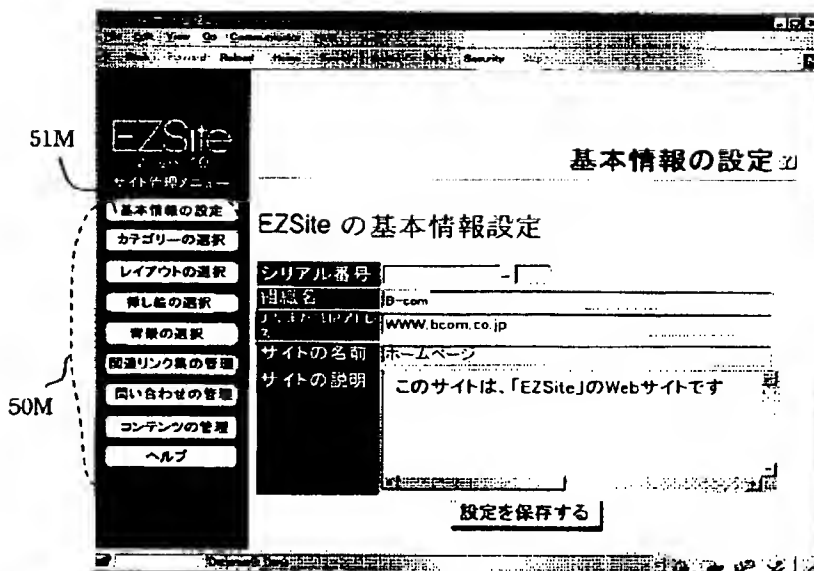
【 図4 】



【 図6 】

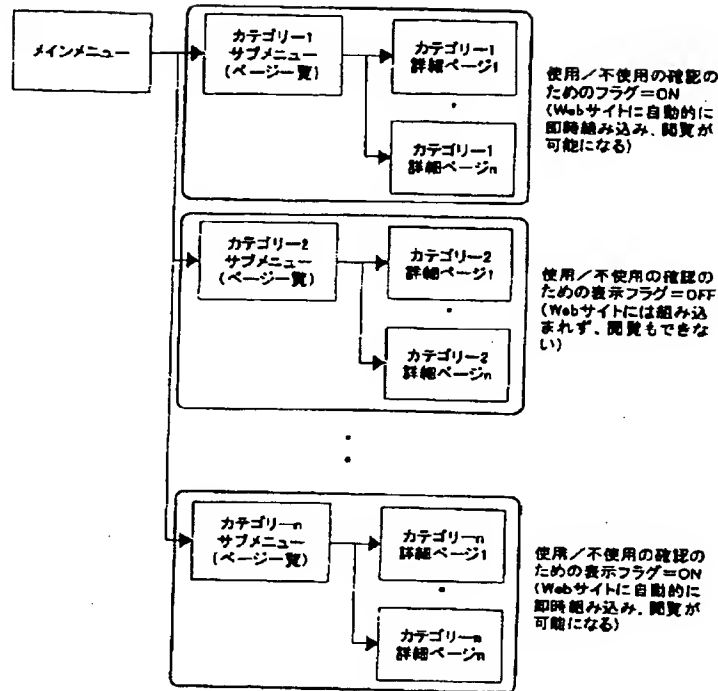


【 図5 】

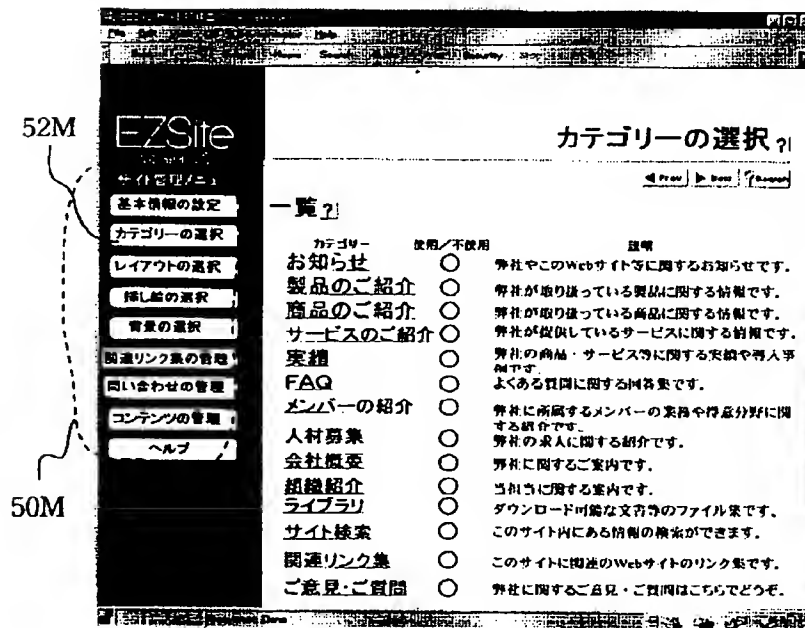


【 図7 】

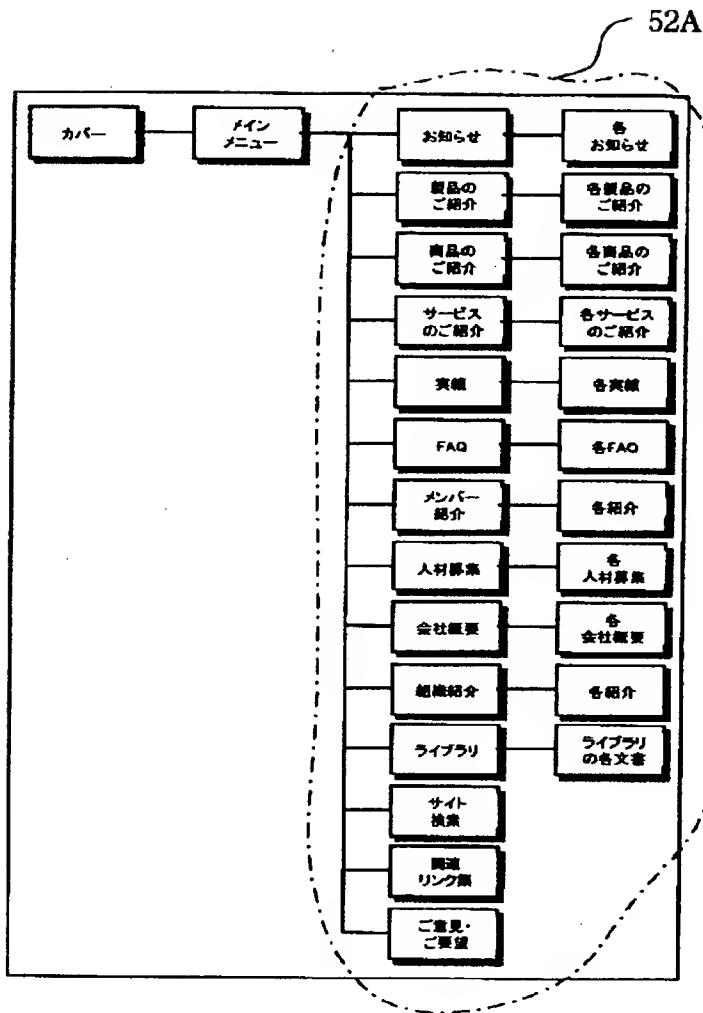
Webサイト構成例



【 図9 】



【 図8 】



【 図10 】

カテゴリの選択 2

◀ Prev ▶ Next

カテゴリ情報の設定 2

種類: お知らせ

説明: 弊社やこのWebサイト等に関するお知らせです。

Webページに ☒ 使用する ☐ 使用しない

設定を保存する

52B

52C

【 図12 】

レイアウトの選択 1

◀ Prev ▶ Next

Type01: レイアウト情報の設定
ページ全体がセンタリングされたレイアウトになっています。
一番下に各カテゴリへのリンクボタンが配置されています。

組織名/サイト名
ページタイトル
コンテンツ
【画像】
リンクボタン...

【使用状況】
MAINメニュー ☒ 使用する ☐ 使用しない
サブメニュー ☒ 使用する ☐ 使用しない
検索ボタン ☒ 使用する ☐ 使用しない

設定を保存する

【 図14 】


挿し絵の選択 1

◀ Prev ▶ Next

画像情報の設定
ページ全体がセンタリングされたレイアウトになっています。
一番下に各カテゴリへのリンクボタンが配置されています。

種類 ☒ Normal ☐ Background

名前 地球

イメージ (プレビュー) 

ファイル名 earth.gif

カバーページ ☒ 使用する ☐ 使用しない
MAINメニュー ☒ 使用する ☐ 使用しない
サブメニュー ☒ 使用する ☐ 使用しない

設定を保存する

【 図19 】

EZSite Editor

表示 印刷

新規ページ作成 文書の編集 掲載する 掲載しない

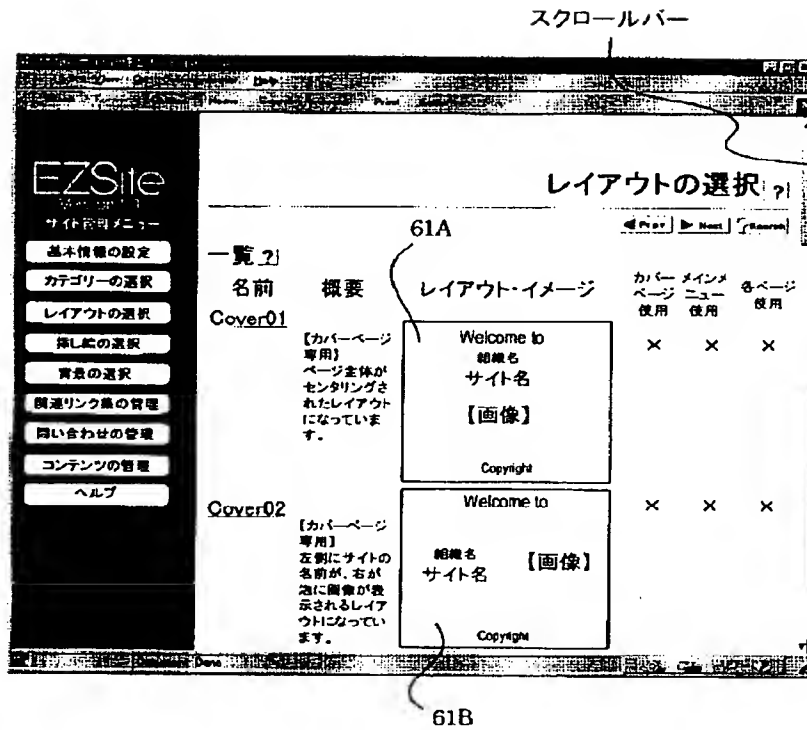
EZSiteコンテンツ

- Q コンテンツ
- Q all
- Q contents
- Q FAQ
- Q お知らせ
- Q メンバー紹介
- Q 組織紹介
- Q エージェント

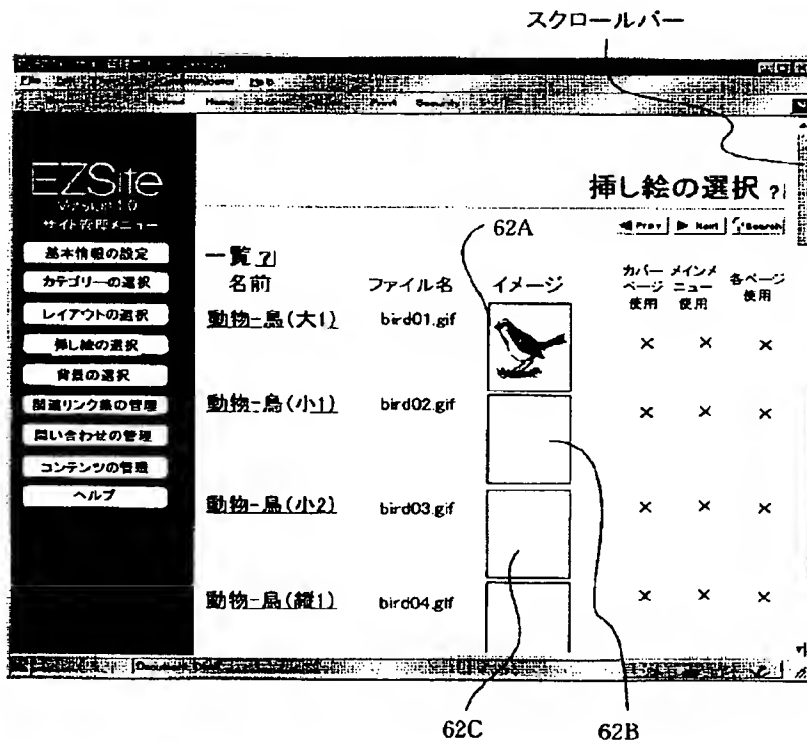
FAQ

- ▶ お知らせ
- ▶ メンバー紹介
- ▶ 製品・サービス
- ▶ 組織紹介

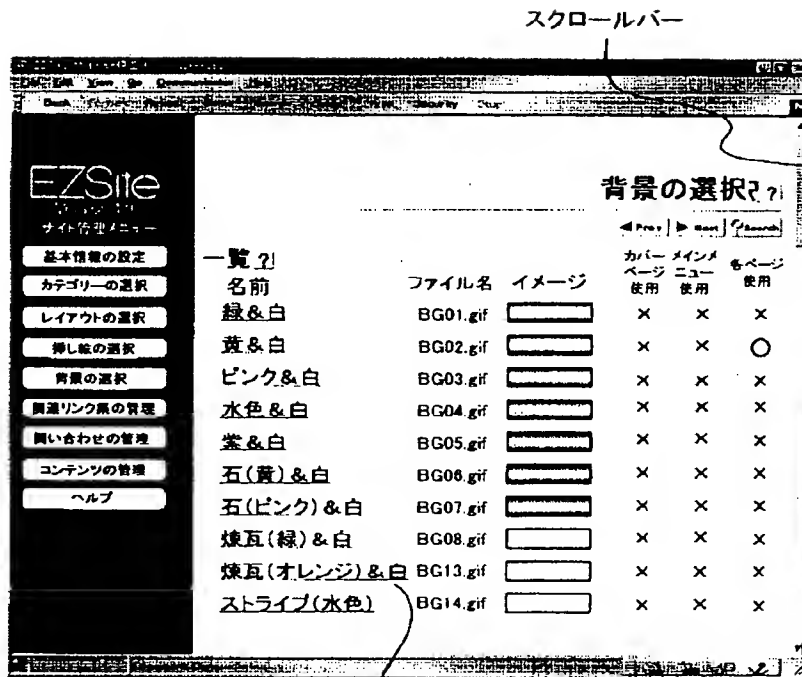
【 図11 】



【 図13 】

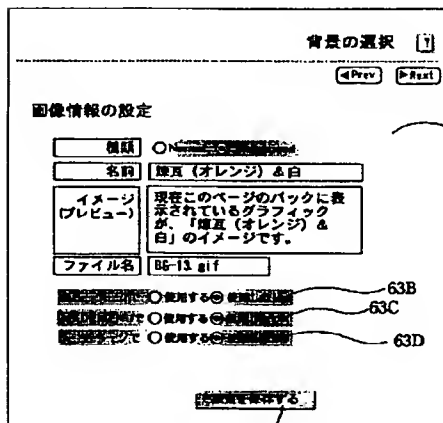


【 図15 】



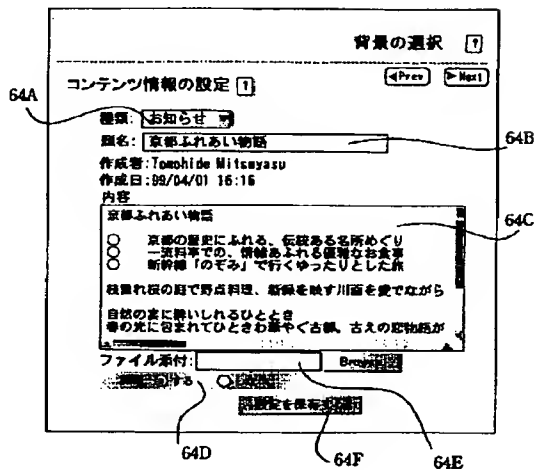
63A

【 図16 】



63E

【 図18 】

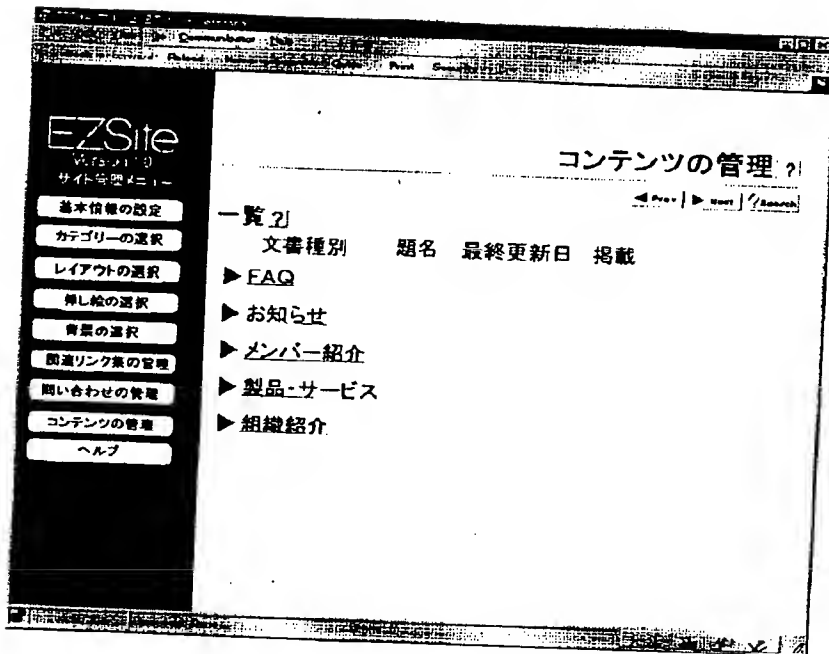


64D

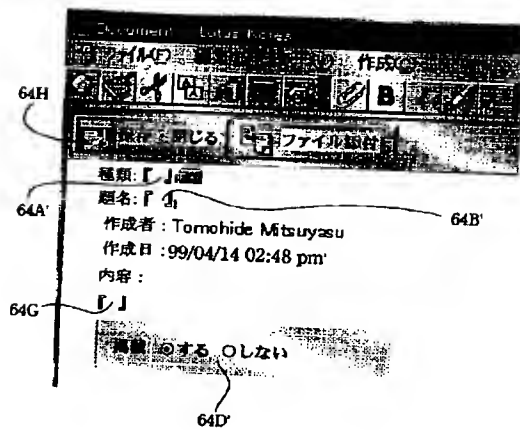
64F

64E

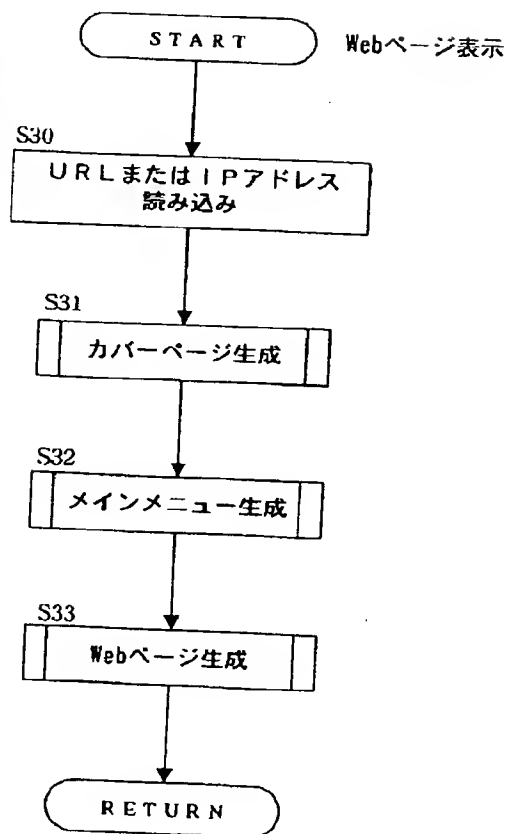
【 図17 】



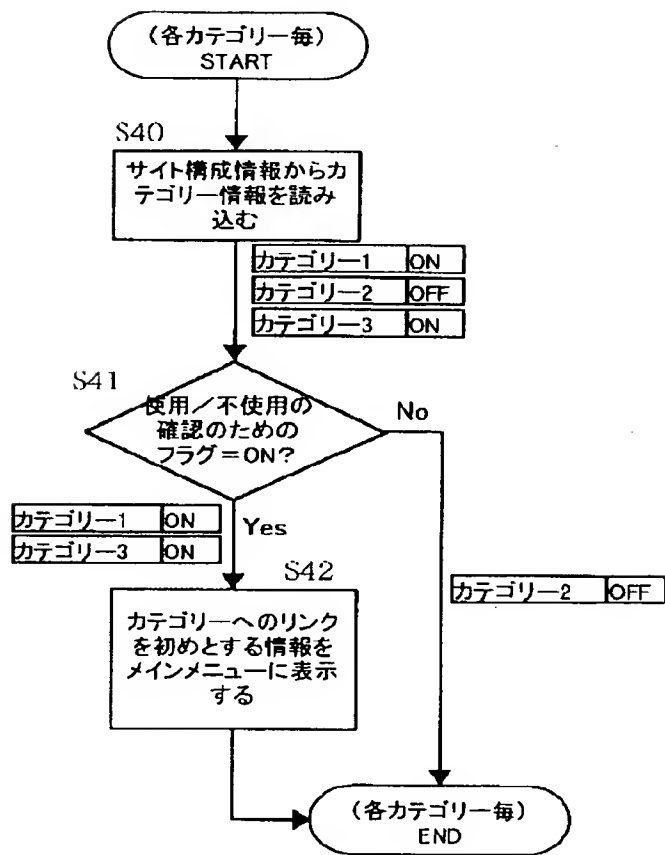
【 図20 】



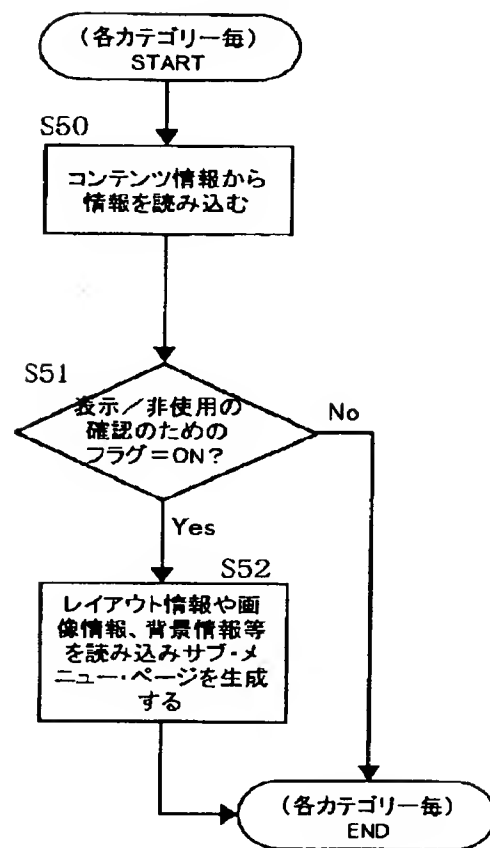
【 図21 】



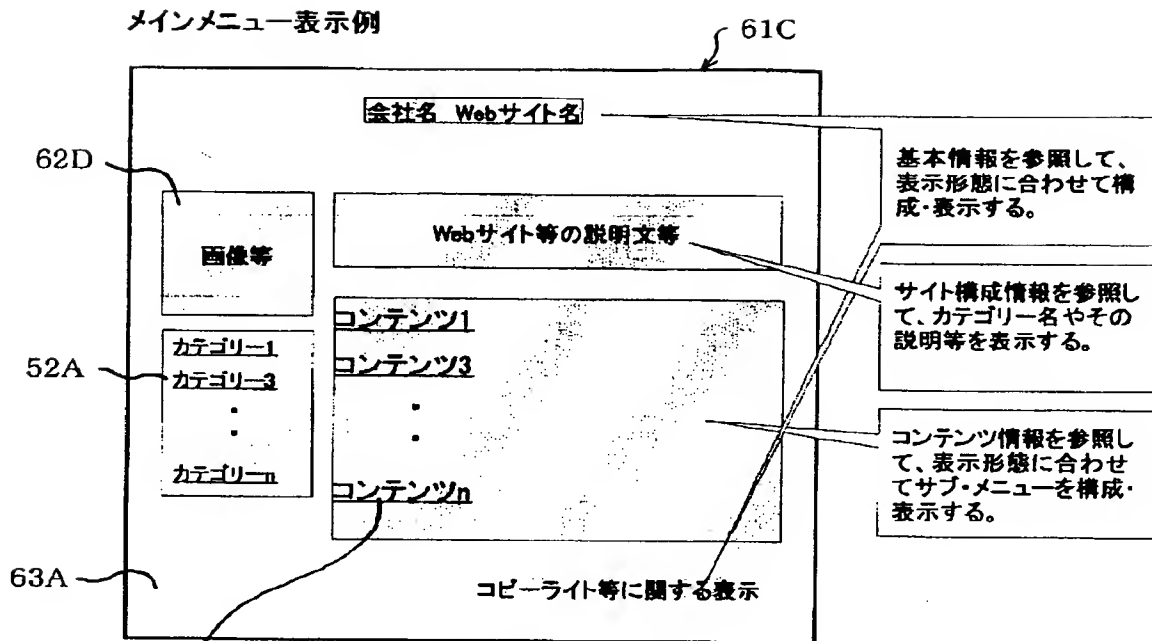
【 図22 】



【 図24 】



【 図23 】



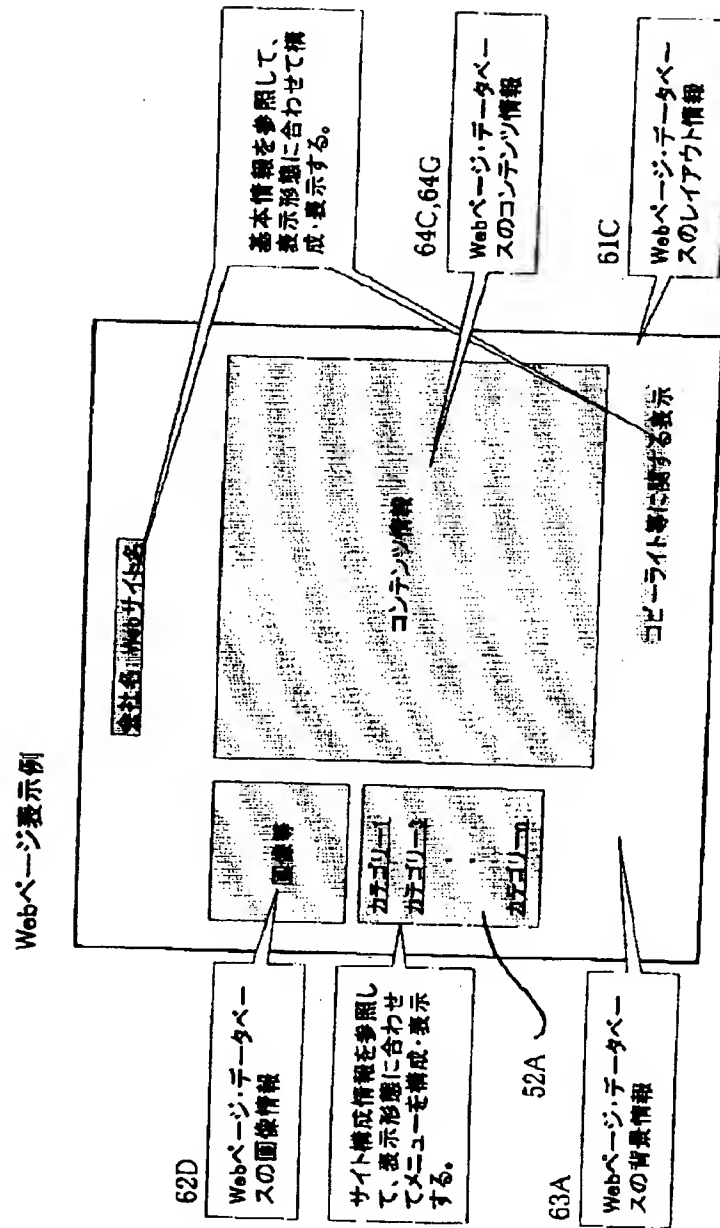
＜上の例におけるフラグの状況＞

コンテンツ1は、表示／非表示の確認のための表示フラグ＝ONなので、サブ・メニューに表示される。(下線部分はそのWebページを表示するためのリンク)

コンテンツ2は、表示／非表示の確認のための表示フラグ＝OFFなので、サブ・メニューには一切表示されない。したがって、コンテンツ2のWebページを閲覧することはできない。

コンテンツ3やコンテンツnについては、コンテンツ1と同じ。

【 図25 】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.